

令和 6 年度事業報告書

1. 事業の概要

当財団では、公益法人制度の改革に伴い、平成 25 年 7 月 1 日に移行登記を完了して、一般財団法人川合京都仏教美術財団として新たな第一歩を踏み出しました。それまでの 24 年間の財団法人川合芳次郎記念京都仏教美術保存財団の実績を継承し、新しい定款に基づいて、京都府内の貴重な文化財の保護修理に対する助成金の交付と、財団が所有する歴史遺産の良好な保存管理、調査、公開などの事業を進め、文化財所有者に対する援助や関係諸機関への協力を通じて、今後も京都府内の文化財保護事業に一定の役割を果たして参ります。

令和 6 年度も文化財の保存修理に 10 件の助成をしました。当財団発足以来の助成件数が 229 件を超え、助成総額も 7,500 万円近くに達しました。一方で、木津川市加茂町の旧燈明寺の維持管理は、年数を経るに従って難しくなって来ました。江戸時代初期創建の庫裏も、毎年のように修理など応急処置を施していますが老朽化は著しく当年度は、庫裏納戸の床貼り工事を京都府と木津川市から補助を頂いて実施しました。今後財団として庫裏の活用を提案し、木津川市とタイアップして加茂地区の活性化に貢献できるよう財源を確保して維持管理に努めます。

2. 会議

(1)令和 6 年度第 1 回理事会の開催

日時 令和 6 年 5 月 29 日(水) 午後 3 時から

場所 法輪院会議室

出席 理事 7 名中 7 名 監事 1 名中 1 名

議題 ①決議事項 (1)令和 5 度に係る事業報告及び計算書類の承認について
(2)令和 5 度に係る公益目的支出計画実施報告書の承認について
(3)令和 6 年度第 1 回評議委員会の招集の決定について
②報告事項 ・代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

(2)令和 6 年度第 1 回評議員会の開催

日時 令和 6 年 6 月 22 日(土) 午後 3 時から

場所 法輪院会議室

出席 評議員 6 名、監事 1 名、理事 3 名

議題 ・議事録署名人の選任について

① 決議事項 (1)令和 5 年度に係る計算書類の承認について
(2)役員の選任について
② 報告事項 (1)令和 5 年度に係る事業報告について
(2)令和 5 年度に係る公益目的支出計画実施報告書について

(3)令和 6 年度第 2 回理事会の開催

代表理事、業務執行理事選定に係る提案について、理事及び監事に提案し理事全員から同意の、監事から異議のないとの意思表示があったため定款 32 条 2 に基づき当該提案を承認可決する旨の

決議がなされたとして令和6年7月25日議事録を作成し記名押印した。

(4)令和6年度第3回理事会の開催

日時 令和7年3月27日(木) 午後3時から

場所 法輪院会議室

出席 理事総数7名中6名、監事1名中1名

議題 ①決議事項 (1)令和7年度に係る事業計画及び予算の承認について
(2)令和6年度の修理助成金交付について
②報告事項 (1)代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

3. 事業関係

(1)公益目的支出計画実施報告書

「令和5年度に係る公益目的支出計画実施報告書」の提出（令和6年6月30日付け／電子申請）

(2)文化財修理助成事業

1) 令和6年度文化財修理助成金の予算

目安として、9件、2,700,000円を計上しました。

2) 助成金申請者募集の活動について

当財団のホームページに「令和6年度の文化財修理助成金の申請を受け付けています」という記事を掲載して応募を呼びかけました（令和6年11月21日掲載）

3) 助成金事業修理状況調査会

令和6年度は10件の申請がありました。令和7年3月21日に理事5名が参加して修理状況の調査を実施しました。うち5件については4つの業者の作業場（大津市1業者1件、京都国立博物館内3業者4件）で担当者から説明を受け、いずれも順調に進められていることを確認しました。残る5件についてはすでに修理が完了して所有者に戻されているなどで、調査を見送りました。

4) 令和6年度文化財修理助成金交付内容の確定

事務局による交付申請書の精査と理事らによる修理状況の調査に基づき、理事会の議決を経て、申請のあった10件いずれも「助成相当」と判断し、令和6年度の助成を以下の10件、2,440,000円と確定しました。

1. 重要文化財	紙本白描白慧暁像	1点1幅	300,000円
2. 重要文化財	木造千手観音立像	1軀	190,000円
3. 重要文化財	紙本墨画山水図	4面	200,000円
4. 京都府指定文化財	紙本著色草花図	20面	300,000円
5. 京都府暫定登録文化財	木造阿弥陀如来坐像	1軀	200,000円
6. 京都府暫定登録文化財	絹本著色仏涅槃図	1幅	300,000円
7. 重要文化財	妙顕寺文書	6幅	300,000円
8. 京都府暫定登録文化財	木造四天王立像	4軀	300,000円
9. 京都府指定文化財	絹本著色五智如来像	1幅	50,000円
10. 国宝	醍醐寺文書	176点	300,000円

5) 令和6年度文化財修理助成金の支払い

各申請者に対する支払い（10件、2,440,000円）は、4月17日に完了しました。

(3) 情報公開について

◇ホームページ関連－公益財団法人京都高度技術研究所（ASTEM）に依頼

(1) 令和 6 年 4 月 15 日

- ① 「お知らせ」の削除
- ② 「お知らせ（2024. 4. 15）」の追加
- ③ 「情報の公開－開示」－「事業計画（令和 5 年度）」と「収支予算書（令和 5 年度）」の 6 年度へ差し替え
- ④ 助成の実績－「これまでの助成実績」の差し替え
- ⑤ 助成実績－「過去 5 年間の助成実績」の差し替え
- ⑥ 「川合京都仏教美術財団役員名簿」の差し替え

(2) 令和 6 年 7 月 19 日

- ① 「お知らせ」－添付の「お知らせ（2024. 7. 17）」を追加
- ② 情報の公開「広告」－「貸借対照表（平成 30 年度）」を削除し、「貸借対照表（令和 5 年度）」を追加
- ③ 情報の公開「開示」－「事業報告書（平成 30 年度）」を削除し、「事業報告書（令和 5 年度）」を追加
- ④ 「川合京都仏教美術財団役員名簿」を更新

(3) 令和 6 年 10 月 8 日

- ① 「お知らせ」令和 6 年度の旧燈明寺収蔵庫の公開について追加

(4) 令和 6 年 11 月 21 日

- ① 「お知らせ」「2024. 10. 11 旧燈明寺収蔵庫の公開について」を更新
- ② 上記の「お知らせ」のあとに添付の「旧燈明寺 2024 収蔵庫公開写真」を掲載
- ③ 「お知らせ 2024. 11. 21 文化財修理助成金の申請を受け付けています」（添付の「お知らせ」②）を掲載
- ④ 「お知らせ 2024. 11. 21 「燈明寺関係文献目録」を改訂しました」（添付の「お知らせ」③）を掲載
- ⑤ 「二つの事業」→「旧燈明寺跡の保存と活用」→「燈明寺関係参考文献」の「燈明寺関係文献目録」を添付のものと差し替え

(4) 文化遺産の保存活用等

◇木津川市加茂町所在の遺跡地関連

1) 維持管理

(1)維持管理業務の委託

旧燈明寺境内地全域の状況と建物の内外の状況の確認及び境内地の草刈りや庭木の剪定作業への立ち会い等の維持管理の業務について、NPO 法人「ふるさと案内・かも」と「管理委託契約」を締結し、毎月 1 回の維持管理作業をお願いしております。今年度も維持管理は毎回 2 名～3 名の同法人会員によって誠実かつ的確に遂行されており、その内容については、毎作業終了後に「旧燈明寺の維持管理作業日報」の提出をもって報告されます。

(2)草刈り・剪定等

- ① 旧燈明寺境内地の草刈り（年3回実施／令和6年5月15日・7月14日・10月14日）
- ② 旧燈明寺境内の危険木の伐採と枝払い（令和7年3月23日）
- ③ 旧燈明寺境内地の庭木の剪定及び周辺の市道の樹木の枝払いの実施（令和6年9月14日）

(3)旧燈明寺庫裏の修理工事

- ① 庫裏納戸の床板貼り工事（令和6年10月25日・26日）

庫裏の納戸の床板の劣化が激しく、危険な状態にあるため床板を取り替えました。

- ② 修理工事の完了検査（令和7年1月24日）

修理工事の終了を受けて、京都府文化政策室、京都府教育庁指導部文化財保護課、京都府山城広域振興局及び木津川市文化財保護課による工事完了検査が実施されました。特段の指摘はありませんでした。

- ③ 当該工事への補助金の申請

今回の庫裏納戸の貼り替え工事について「令和6年度京都府社寺等文化資料保全事業に補助金の交付申請したところ、京都府並びに木津川市の補助金の交付が決まり交付されました。詳細は下記のとおりです。

総工事費 411,235

京都府補助金 184,000 円、木津川市補助金 103,000 円、財団負担金 124,235 円

(4)収蔵庫前手摺り工事（令和6年10月26日）

2) 文化財の活用

①収蔵庫の公開等

木津川市観光協会主催の「木津川市 2024 秋の特別公開ー文化財の宝庫 木津川市」に協賛して、旧燈明寺の収蔵庫の公開を3日間実施しました。

◇公開期間 令和6年11月2日(土)、11月3日(日)、11月4日(月・振替休日)

午前10時から午後4時まで

- ◇公開内容
- ・木造千手観音立像 / 木造十一面観音立像 / 木造不空羂索観音立像 / 木造聖観音立像 / 木造馬頭観音立像（鎌倉時代、京都府指定文化財）
 - ・不空羂索観音像像内納入品（木造合体天部形立像2点 / 観音像造立奉加結縁交名）（鎌倉時代、京都府指定文化財）
 - ・「東明寺」銘軒丸瓦（室町時代）
 - ・『燈明寺縁記』（元禄9年・1696）
 - ・『拾遺都名所図会』巻之四（天明7年・1787）
 - ・南山城三十三所観音霊場額（天保7年・1836）

◇来場者数 11月2日 - 113名、11月3日 - 112名、11月4日 - 66名

合計 291名

（前年度123名）

◇監視・案内業務委託 公開期間中の監視及び案内等の業務を地元のNPO法人

「ふるさと案内・かも」に委託しました。

◇周知について

- (1)木津川市観光協会ホームページへの掲載、パンフレットの発行
- (2)当財団ホームページへの掲載

4. 資金運用

◇当年度も資金運用に幾つかの動きがありました。

- ①令和7年3月19日 「バンクオブアメリカ固定変動利付債 3501」 100,000^F_ℓ (15,844,420 円) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券より購入しました。
- ② 令和7年3月19日 三菱UFJ銀行の「スーパー定期」へ4,000,000 円を振替ました。

以上